

# ちいぎ新聞

2018年8月24日号  
佐倉西版  
発行部数43,867部  
VOL.1930 全57版  
総発行部数2,131,738部

**今週の見どころ**

- ☆ホームスタート・さくら
- ☆くさのねフェス
- ☆スペシャルインタビューに藤井フミヤさんが登場!

ちいぎ新聞に関するご意見・ご要望は ☎0120-152-337 広告掲載・チラシ折込等については ☎047-458-6802 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み ✉ sakura-nishi@chiikinews.co.jp

佐倉市内の少年野球チームの女子選手が集合

## 佐倉なでしこ 女子野球クラブ

佐倉市少年野球リーグに所属する各クラブの女子選手たちが出場した「なでしこオールスターゲーム」(2013年開催)を契機に結成された「佐倉なでしこ女子野球クラブ(以下なでしこ)」。佐倉市少年野球リーグの夏のリーグ戦で、彼女たちの戦いを見た。

### 少年野球チームの女子選手で結成

むらさきライオンズクラブからの支援を得て、選手らはそりのユニフォームで試合に挑む。高橋監督は先発投手へ「バウンドしてもいいよ」と声を掛ける。ボールは高めに浮くことなくストライクゾーンの低い位置を通り抜けていく。バッテリーには「空振りを怖がるなよ」と一球一球声掛けが続く。チームは盗塁が多い。いったん塁に出ると積極的にリードをとり、果敢にスライディングする。

普段、所属するチームでスタメンに選ばれる女子選手は多くない。だからこそ高橋監督は「なでしこ」に集まる全員をバッテリー・ボックスに立たせる。守備位置はその日集まった顔触れで決めるのが「なでしこ」流。実戦でポジションの役割を覚える。試合は勝つ方がいいに決まっている。でも、それが全てではない。野球をもっと楽しんで、好きになってほしいと監督。

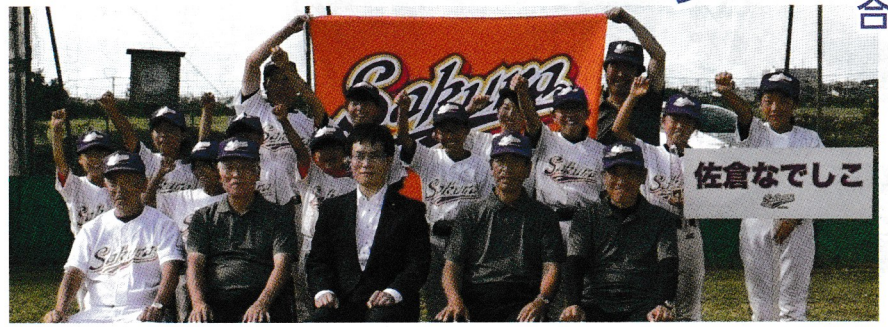
### 失敗を恐れず全力プレーに自信

「元」の野球応援に母と一緒にグラウンドに通ううちに、小3から野球を始めた」と主将の間の台シャイアンツ柴崎さん(6年)。「守備が楽しい。アウトを取れると気持ちいい」

「元」の野球応援に母と一緒にグラウンドに通ううちに、小3から野球を始めた」と主将の間の台シャイアンツ柴崎さん(6年)。「守備が楽しい。アウトを取れると気持ちいい」



切り力投



7月8日に開催された秋本真利杯争奪若葉区女子選抜VS佐倉なでしこ女子野球クラブ定期戦で優勝

と西志津クラブの北島さん(6年)。

この日の試合は第11回夏季少年野球大会の1回戦で、王子台シーガルス(通常の少年野球チーム)との対戦だった。1対16で完敗したが、試合後も選手たちは朗らかに笑う。「なでしこの野球は友達と緒で楽しい。でもライブル同士。西志津クラブでスタメンを出してもうえないのが悔しい。男子を抜いてまずは外野のスタメン、そこから内野でもスタメンで出られるようになりたい」と西志津クラブの松村さん(6年)。日頃守備練習の機会が少ない選手も「なでしこではいろいろな守備位置を経験できる。」

「なでしこ」での試合経験は娘にとって刺激的。自分にも男子と同じプレーができる!という自信を持って帰ってくる。とお母さんたちは話す。

現在チームは、年6回の佐倉リーグの大会に加えて、県内の女子チームが戦う「Chiba Girls Cup」や「若葉区ガールズ」(千葉市若葉区の女子選抜チーム)との定期交流戦を戦う。7月には初の逆転勝利を飾った。「どんどんうまくなってきた。自信を持って各自チームで練習をやってみて」と監督。なでしこたちの今後の活躍が楽しみだ。(瑞希)

佐倉少年野球リーグ  
https://www.sakuraleague.com/

「なでしこ」での試合経験は娘にとって刺激的。自分にも男子と同じプレー